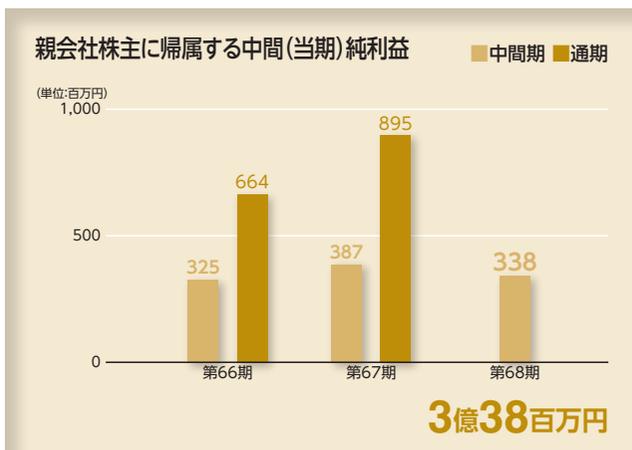
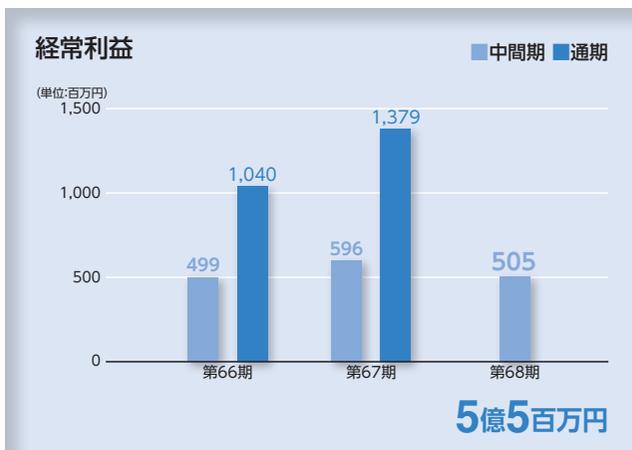


## 決算ハイライト(連結)

Financial Highlights



(注) 第67期より連結決算に移行しております。第66期までの数値につきましては単体の数値です。

## 会社の概要

Corporate Data

社名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日 (創業: 明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売及び輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売及び輸出入。 古物売買業。
従業員数	連結 234名 / 単体 206名 (嘱託社員を除く) (平成28年9月30日現在)

## 株主メモ

Shareholder Memo

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ( <a href="http://www.toba.co.jp/">http://www.toba.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

# 第68期 中間報告書

Interim Business Report 2016 2016.4.1 ▶ 2016.9.30



平成28年12月

代表取締役社長  
鳥羽 重良

TOBA 株式会社 鳥羽洋行  
証券コード: 7472

先端技術で  
社会と産業の進化を支える

## 株主の皆様へ

To Our Shareholders

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第68期中間期(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)のご報告にあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期の世界経済を概観しますと、米国経済は労働市場と個人消費の好循環が続き、緩やかな景気拡大が続きました。欧州経済も6月の英国の国民投票によるEU離脱選択という波乱要因はあったものの、総体としては内需主導の景気回復基調で推移いたしました。また、中国を中心とする新興国経済は、マイナス金利導入の日欧の金融緩和強化や米国の利上げ先送り及び下落を続けていた原油価格の底入れ感等が、新興国への再度の資金流入を引き起こしていることにより、不安定ながら景況感は改善いたしました。

一方、わが国経済は経済統計からみた個人消費、設備投資及び在庫投資等の指数は前年比で改善傾向にありましたが、急激な円高進行による輸出環境の悪化や盛り上がりや個人消費動向等が国内における自動車や家電関係の製造業の設備投資の停滞を招いており、日本経済全体としては「踊り場」局面で推移いたしました。

このような経済環境下で当社グループは、国内におきましては比較的堅調な需要が続くスマートフォン、タブレット端末、並びに開発から実用段階に入ろうとしている有機EL等に関連する得意先、及び輸出が堅調な自動車・車載部品に関連する得意先を中心に販売を展開するとともに、国内国外を問わずあらゆる製造現場でニーズのある自動化・省力化に必要なFA機器を中心に、制御機器及び産業機器の販売も積極的に進めてまいりました。

以上の結果、当中間期の連結売上高は105億36百万円(前年同期比1.1%減)、連結営業利益は4億64百万円(前年同期比16.0%減)、連結経常利益は5億5百万円(前年同期比15.2%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は3億38百万円(前年同期比12.5%減)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

制御機器 生産工場の構成には欠かせない

売上高35億26百万円

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、国内製造業の設備投資は総じて足踏み状態で推移したため制御機器需要は伸び悩みました。中でも制御機器部門の大きなウェイトを占める空気圧機器及び継ぎ手の大口需要先である精密機器及び半導体製造装置に関連する得意先における需要が予想を下回ったこと等により、制御機器全体の連結売上高は35億26百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

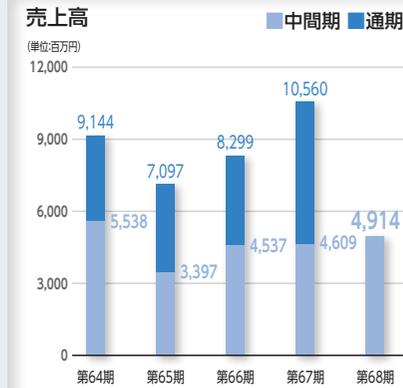


FA機器 工場の自動化・コストダウンを実現

売上高49億14百万円

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、国内外の製造業全般における自動化・省力化及びIoT推進のための設備投資需要は堅調で、産業用ロボットや表面実装システムを中心にFA機器の需要は伸びました。とりわけ国内では車載部品及び電子機器に関連する得意先からの表面実装システムの需要や中国における単軸ロボットの需要が伸びたこと等により、FA機器全体の連結売上高は49億14百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

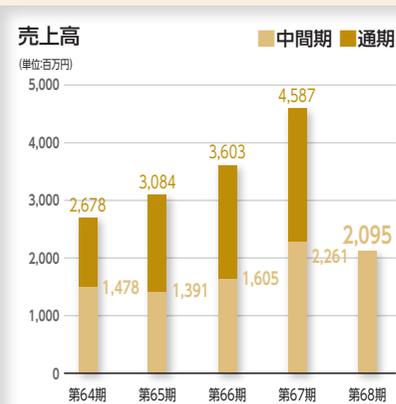


産業機器 生産組立て作業に使用されている

売上高20億95百万円

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、ろ過フィルター、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、ろ過フィルターの需要は前期に続いて堅実に推移し、産業機器部門の売上高に寄与しましたが、国内製造業全般における設備投資需要が伸び悩んだこと等により、産業機器全体の連結売上高は20億95百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

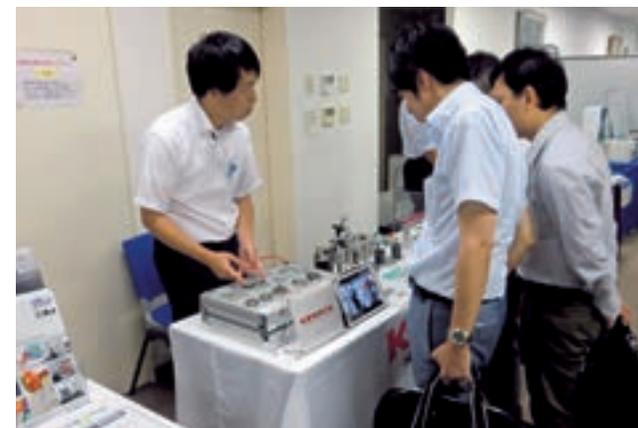


(注) 第67期より連結決算に移行しております。第66期までの数値につきましては単体の数値です。

『プライベート複合展』を実施

IoT (モノのインターネット) があらゆる業界で進む今日、当社が関連する製造業界でも日々技術革新が必要となります。

産業の発展に貢献する当社は、常に次世代の製造現場を変える最先端の新商品をお客様に提供するために、全国各拠点において各種の展示会を開催しております。



(本年7月、本社で開催したプライベート複合展の風景です。)